

第47回県下中学校新人柔道大会（北哲郎旗争奪戦） 実施要項

1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会

2 後援 鹿児島県中学校体育連盟

3 期日 **令和5年2月18日（土）**

※ 計量（全選手）＝8時00分～8時50分

男子は団体・個人戦の計量も兼ねる

※ 審判会議・監督会議＝9時10分～

※ 開会式 9時40分～

4 会場 西原商会アリーナ（サブアリーナ）

5 内容

(1) 団体戦 1校1チーム＝監督1名、選手5名（他に補欠2名）

※ チームの編成は、3名以上とする。

※ チームの編成は体重順とし、5名に満たないチームは後詰めとする。

※ 補欠を変更した場合、再度体重順となる。

(2) 個人戦

ア 男子：3階級（60kg以下、81kg以下、81kg超）で行う。

団体戦に出場した学校は3階級のうちのいずれかの階級に1名のみとする。

団体戦に出場しない学校は最大2名までとする。（各階級に2名ではない）

イ 女子：3階級（48kg以下、63kg以下、63kg超）

6 参加資格

(1) 選手は、鹿児島県内の中学校の生徒（2年生または1年生）であること。

(2) 転校後6ヶ月未満のものは出場できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合、又は、特別な理由がある場合は主催者の認可があればこの限りではない。

(3) 令和4年度全日本柔道連盟の「団体登録」「競技者登録」をしていること。

(4) 監督は学校長が認めた指導者で、令和4年度全日本柔道連盟の「指導者登録」をしていること。

7 参加料 団体戦＝1チーム5,000円 ※ 団体戦の選手は男子に限る。

個人戦＝個人戦のみに出場する選手 1,000円

※ 大会当日「受付」で納入する。

8 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定（2022年）による。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準

団体戦＝「技有」または「指導2差」以上とする。

個人戦＝「技有」または「指導2差」以上とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコアで決する。「技有」以上の得点、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

(3) 試合時間は、3分間とする。

(4) トーナメント方式による。

(5) 団体戦における勝ちチームの決定は、次の順による。

ア 勝ち点による。

イ 勝ち点が同等のときは、内容による。

ウ 内容も同等のときは、代表戦を行う。代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。「技有」以上の得点、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。引き分けがない場合は自由代表（3分間→ゴールデンスコア）とする。

9 表彰 第1位から第3位までを表彰する。（女子個人戦は3位まで）

10 参加申込

令和5年1月19日（木）必着で、申込書を「郵送」及び「メール」の両方で申し込むこと。

申込先 〒892-0853 鹿児島市城山町2-21 公益財団法人鹿児島県柔道会

柔道大会申込メールアドレス entry@k-judokai.sakura.ne.jp

※ 申込書のエクセルデータに必要事項を入力し、データのまま送信する事。画像化したものは不可とする。

※ 紙媒体の申込書はエクセルデータをプリントアウトしたものとする。外字がある場合はその部分のみ手書き可とする。

11 組合せ 主催者において決定する。

12 その他

- (1) 選手の参加については、あらかじめ各保護者の承諾を得ること。
- (2) 脳震盪対応について
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- (3) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
- (4) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
- (5) ゼッケンは、必ず周囲及び対角線にも縫いつける。
- (6) **応援者については選手1名につき応援者1名とする。**
- (7) 全来場者（選手・監督・コーチ・役員・応援者など）は「健康記録表兼同意書」を大会当日の朝、受付に提出すること。また、応援者については各学校の代表者が「応援者入場届」に名簿を作成し、提出すること。
- (8) 新型コロナウイルス感染予防については、検温、マスクの着用、三密を避けるなど対策を徹底する。
- (9) **新型コロナウイルス感染症予防のため、大会が「中止」になる場合がある。**
- (10) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
- (11) 個人で靴を管理するために、各自靴袋等を準備すること。